

在校生が卒業生を取材！



島根大学医学部附属病院
リハビリテーション部

吉原 知宏さん

(2023年度卒・岡山大学出身)

理学療法学科2年

中田 愛実さん

松江商業高校出身

理学療法学科2年

細田 晃史さん

開星高校出身



就職してみても、実際の理学療法士の仕事をどう感じていますか？

人の人生に関われ、感謝してもらえるやりがいのある仕事です。退院が難しい状態の患者さんのリハビリを担当し、自宅に帰っていただけたことがありました。その方が次のステップに進む一助になれて嬉しかったです。一方で、人の命を預かる責任も感じています。患者さんと接するのはプレッシャーもありますが、それが成長の起爆剤にもなっていると思います。



学生時代の勉強で得た知識は実際の現場で活かしていますか？

もちろん！ 学生時代に学ぶことは臨床現場の基礎の基礎。現場に出てから経験や技術を積み重ねていくためには絶対に欠かせません。特に解剖学・運動学・生理学の分野は本当に大事だと日々感じています。国家試験は一人で目指すにつらいこともあります。3年間一緒に歩む仲間がいます。教え合いながら勉強するのは楽しいですし、みんなで一つの目標に向かっていくのは良い時間ですよ。



国家試験の勉強はいつごろから始めましたか？

本格的に意識して取り組んだのは2年生からでしたが、実は毎日の勉強がそのまま国試の勉強なんです。私はとにかく学ぶのが楽しかった！ 先生方が実習や実技試験を通して座学と臨床を繋げるサポートをしてくれ、興味を持って取り組みました。日々の授業をしっかり聞き、吸収することが最終的に結果に繋がってくると思います。



小テストもあり学習の密度が高いと感じますが、吉原さんの3年間は怎么样了か？

きっちカリキュラムが組まれているので、いい意味で“詰まって”いたのが良かったと思います。だらける隙がなかったイメージですが、レジャーやアルバイトの時間も確保できメリハリはありました。3年で国家資格を目指すのは大変なことも多いですが、「自分の人生の中で頑張ったことがある」という思い出がきっと残るはずです。



学校生活で楽しいこと・楽しかったことは？

休み時間にクラスメイトとゲームなどで遊び、勉強以外にも楽しく過ごしました。私は社会人を経験からの入学だったので、歳下の友達との関わりは学びが多かったです。



僕は一緒に遊ぶこともあります。自分だけでのんびりする時間も気兼ねなく作れるのが、楽しいというか雰囲気がいなと思っています。



実際の医療現場でも多職種の人と対話し、連携します。人と仲良くなれる力は関係を円滑にするので、とてもいいですね！



他の学科との合同授業で仲良くなれるのが楽しいです。取り組んでいる科目や実技の内容などいろいろ聞けて面白いし、プライベートで会う友達も増えています。



これから入学する人へ

松江総合医療専門学校は学生と先生との距離が近く、悩みを1人で抱え込むことがない環境。先生方は医療現場での経験があり、実技面の指導でも就活の相談でも本当に頼りになります。おかげで私は大きな苦勞を感じず3年間過ごせました。3年制なので4年制の学校を卒業する人よりも早く社会に出て社会経験を積めるのも魅力だと思います。

